

今こそ 子どもの権利の実現を!



小平・生活者
ネットワーク
ニュースNo.113

2012年11月1日
発行責任者/打木香澄

〒187-0045
小平市学園西町2-15-2 CB一橋学園
TEL & FAX 042-342-4494
E-mail kodaira@seikatsusha.net
http://kodaira.seikatsusha.net/

虐待やいじめ、子どもの貧困問題や東日本大震災による子どもへの影響など、子どもたちを取り巻く状況は深刻さを増しています。子どもが子ども時代をあたりまえに育つことができる環境をどうつくっていくのか。表面に現れている事象だけの判断や、大人の都合や場当たりの対応ではなく、子どもの権利にたちもどった議論が必要です。



子どもは遊びの中からいろいろなことを学んでいきます

子どもの世界は、経済性、効率性が優先される大人社会とは全く違うものです。子どもに必要なのは、せかさねずにゆつくり過ごしたり遊んだりする時間、のびのびできる空間、一緒に遊ぶ仲間であり、この「時間」「空間」「仲間」の三つの「間」が子どもの成長過程には欠かせません。生活者ネットワークは、「三間」が、子どもたちから奪われていることに警鐘を鳴らし、遊び場調査をはじめ様々な活動を行いながら、子どもの居場所づくりなど子どもの権利に基づく施策を提案してきました。

ゆとり教育の見直しで授業時間が増え、塾や習い事など子どもはますます忙しくなっています。子

「三間」を返そう
子ども

子どもは、ただ守られるだけの存在ではなく自ら考え問題解決できる力を持っています。生活者ネットワークは、子ども参加によってその力を引き出したいと、当事者である子どもに参加を呼びかけるの遊び場づくりや「ティーンズフリマ」など、子どもの自主的な実践の場をサポートしてきました。

また議会の中では、子ども自身が力をつけていくための施策をすすめるべきとの立場から、※CAPを授業にとりいれることや、プレイパークや居場所づくりの必要性について発言してきました。さまざまな場面で子どもの意見表明権や参加の場の保障についても訴え続けています。

子どもが巻き込まれる事件の影響や、公園の近隣住民からの苦情などから子どもが外で思い切り遊べる空間も失われてます。子ども同士で群れて遊ぶことができなくなったことで、コミュニケーションを育む機会も奪われてきています。取り返しがつかなくなる前に、子どもたちの世界に「三間」を戻さなければなりません。

子ども参加
まがひんをさつおあをら

子どもフォーラム

**子どもの活動の現場から～
子どもの声が聞こえていますか?**

西野博之さん(ワリススペースたまり場 えん代表)
山中ゆう子さん(チャイルドラインたちかわ代表)

小平市議会議員
岩本ひろ子、日向みさ子、平野ひろみ

日時 2013年1月20日(日)
午後1時30分～4時

主催 小平 生活者ネットワーク 子ども部会

わたしたち大人に求められているのは、今を生きている子どもたちが、かけがえのない子ども時代を豊かに過ごせるよう、失敗しても何度でもやり直せるという環境をつくりながら、子どもの育つ力を精一杯応援していくことです。子どもが自由に発言できる機会を保障しながら子ども参加によるまちづくりをすすめていくことは、だれもが暮しやすいまちづくりにつながるはず。*

※CAP: 人権の視点から考える子どもへの暴力防止プログラム



子どもの遊びが制限されている公園や市民広場もあります